

自ら考え 生き生きと表現する子

～ 書く活動を通して～

〈研究主題設定の理由〉

本校では、これまで、主に算数科を中心とし、「朝自習での漢字や計算の反復学習」「個別指導」「習熟度別少人数授業」などのきめ細かな指導を通して、基礎・基本の定着を図ってきた。学力テストの結果を見ても、少しずつその成果が感じられる。しかし、身につけた基礎的な力を使って新たな課題に挑戦したり、話し合い活動において自分の考えや思いを表現したりする意欲に乏しい子どもたちの姿が課題となっていた。

そこで、子どもたちのこうした現状を踏まえ、研究主題を「自ら考え 生き生きと表現する子～書く活動を通して～」と設定した。これまでの基礎・基本を大切にする考え方を継承し、それを活用する力へとつなげ、さらに「生き生きと表現する子」の育成をめざしていきたい。

〈めざす児童の具体的姿〉

	自ら考える子	生き生きと表現する子
低学年	・話を聞きながら、自分の思いや考えを持つことができる	・自分の考えや思いを話題に沿いながら、進んで表現する
中学年	・相手の思いと自分の考えを比べることができる	・自分の考えを根拠をあげながら、進んで表現する
高学年	・自分の考えと友達の考えを比べて、広げたり深めたりすることができる	・友達の考えを生かしながら、自分の考えを工夫して進んで表現する

〈本校の授業における柱〉

- ★ 既習事項の活用による自力解決
- ★ 書く活動による学びの支援